

緊急特別セミナー  
2012年の北東アジア—2大変化をどう見るか  
第1部《ロシアWTO加盟》  
～ これからのロシアと対ロ経済関係をどう見るか ～  
(平成23年度第6回賛助会セミナー)

2012年1月19日(木) 15時～17時  
於:朱鷺メッセ2階 中会議室201

《目次》

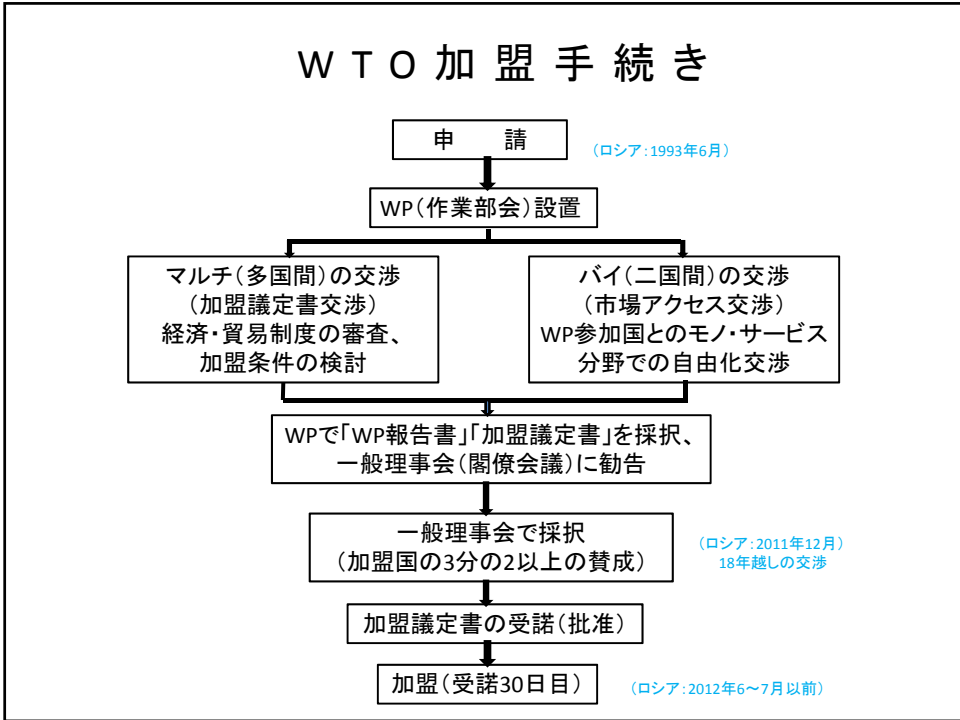
初めに:下院選挙の結果とロシアの政治情勢  
☆WTO加盟交渉の経緯と承認  
☆加盟によって何が変わるのか  
☆ロシアの経済情勢  
☆期待される加盟効果と不安な要素  
☆日ロ経済関係に及ぼす影響  
終わりに:なぜ国際貿易機関が要るのか

ERINA 杉本 侃

## ロシアのWTO加盟交渉と承認

- ・1983年6月:GATTにオブザーバー参加申請\*)
- ・1990年5月:オブザーバー資格取得(92.9.にロシアが継承)
- ・1993年6月:GATT加盟申請・WP設置  
(1995.1.:GATTがWTOに改組)
- ・1995年7月:WP第1回会合(爾後31回の公式会合)
- ・2005年11月:日本との交渉妥結
- ・2006年11月:米国との交渉妥結
- ・2008年:ウクライナ加盟・ロシアが合意事項の一部見直し主張
- ・2010年:7月にEUとの交渉妥結他二国間交渉が大筋合意
- ・2011年10月:グルジアがロシア加盟に合意
- ・2011年12月16日:加盟承認・合意書署名(WP承認は11月10日)  
(220日以内・期限2012年6月15日-に批准・その30日後に正式メンバー)

\*)ソ連は1979年にGATT参加意思を表明。米は、ソ連が自由貿易の推進を図るか疑問視(ソ連の経済・貿易システムはGATTの自由貿易ルールに合致しない)



### 加盟の条件:ロシアの約束(1)

原則		現 行	加盟後
・関税対象品目の3分の1は、加盟をもって引下げ実施	平均関税率	10.0%	7.8%
	農産物	13.2%	10.8%
・残りの内の4分の1は、3年後に実施	乳製品	19.8%	14.9%
	穀類	15.1%	10.0%
・実施猶予期間は、豚肉が最長の8年、自動車・ヘリコプター・民間航空機は7年。	油糧種子・油脂・油	9.0%	7.1%
	工業製品	9.5%	7.3%
・IQ品目(次頁)については、割当数量内の関税は低く、割当外の関税は高く設定。	化学品	6.5%	5.2%
	自動車	15.5%	12.0%
	電気機器	8.4%	6.2%
	木材・紙	13.4%	8.0%

## 加盟の条件:ロシアの約束(2)

### 輸入割当品目

割当内関税 割当外関税

牛肉 15.0% 55.0%

豚肉 0.0% 65.0%

(2020年1月1日から25%)

一部鶏肉製品 25% 80%

一部乳清 15% 10%

通信:外資49%の規制

4年後に撤廃

保険会社支店:9年後に設立可

銀行子会社設立可(銀行部門の  
全外資比率が5割以下なら)

流通:卸・小売100%外資可

### ・輸出関税

魚介類・石油・生革・木材・紙パルプ・  
卑金属など700項目以上について導  
入する

### ・補助金

工業製品の輸出に交付される補助金  
を廃止

農産物の補助金は、2012年は90億ド  
ルを、2018年までに44億ドルを超え  
ないこと

農産物輸出補助金はゼロとする

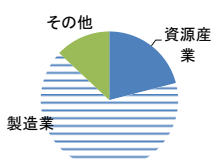
ガスの生産・輸送は原価と利益の回収  
を基本として実施する

### ・自動車産業組立制度による優 遇措置を2018年7月1日まで に廃止

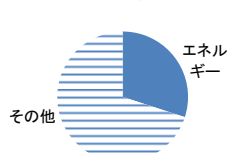
### ・知的財産権の保護

## ロシア経済の特徴

鉱工業総生産の構造



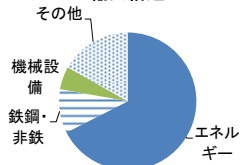
GDPの構成



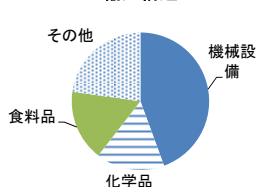
産業別税收



輸出構造



輸入構造



### 《ロシア経済の特徴》

- ・鉱工業生産に占めるシェアは  
製造業が約3分の2、資源部  
門は4分の1程度
- ・GDPでは約3割、税收では半分  
弱をエネルギー部門が占める
- ・貿易では、付加価値の低い原  
材料を輸出し(7割)、高付加  
価値製品を輸入(製造業弱体)

## WTO加盟の利害得失

WTO3原則: ①自由 ②無差別 ③多角的

### 良い面

- 産業(製造部門)競争力の強化  
投資環境改善⇒外資増大
- インフレの押し下げ  
関税低減⇒輸入価格低下
- 国際的企業との競争による近代化促進
- 経営・生産の効率化(省資源他)
- 実効性のある紛争処理機能
- セーフガードの存在

### 悪い面

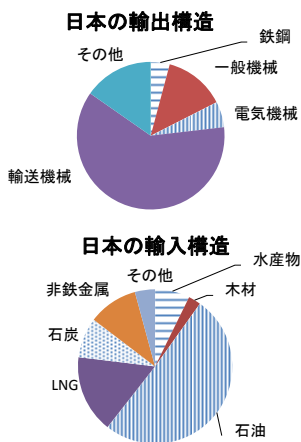
- 補助金削減⇒競争激化
- 弱体産業(自動車・農業等/老朽化設備・非効率経営)の衰退の危惧
- 外資のロシア企業吸収の懸念
- 貿易収支の悪化
- 企業城下町への影響の懸念
- 廉価な輸入品による国産品圧迫

WTO加盟効果: 年間40億~50億ドルの利益  
GDPを年率1%(以下)押し上げ

ロシアの産業の競争力: (1)世界市場で対抗可: 鉱物資源・森林資源・原子力関連機器  
(2)特定市場(CIS・開発途上国)で優位: 機械・設備・織物・肥料  
(3)競争力・優位性なし: 航空機・乗用車・家電品・精密機械

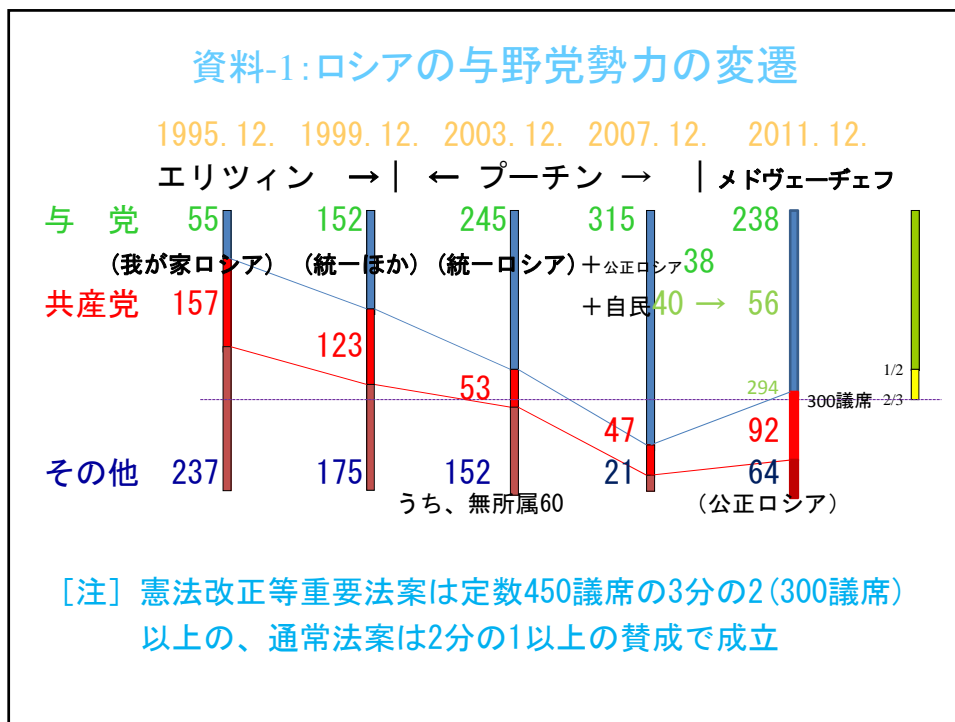
## 日口経済関係に及ぼす影響

### 日口貿易の特徴



### 日本への裨益効果

- 透明性の確保  
汚職度: 182カ国中143位
- 法税制度の改善  
ビジネス難易度: 183カ国中120位  
国際競争力: 59カ国中49位
- 工業製品の関税引下げ  
自動車・機械設備・鉄鋼・家電製品などの輸出拡大
- 予見可能な制度変更
- 紛争処理機能 他



### 資料-2: 下院選 (2011.12.4) と政治情勢

<< 与党大敗の原因 >>  
 ☆ 長期政権に対する厭嫌感: 失せた新鮮味・鼻に付く performance・治世22年!!  
 ☆ プーチン閥支配に対する批判: KGB・柔道仲間・SPb (資源産業 運輸・土木建設・機械部門 港湾他 基幹経済部門)  
 ☆ プーチンの民主主義への懸念: 言論統制・再国有化・外資制限 etc.  
 ☆ 「脱エリツィン」から「擬エリツィン」への転身: 結局は政商支配経済

<< 政治に与える影響 >>  
 ☆ 他に有力候補なし (出る釘は打つ): 影響は軽微  
 ☆ 強大なマスメディア支配力: デモの暴徒化はない?  
 ☆ 一党支配の弊: 育たない野党 (長いものには巻かれる)

<< 当面のキャンペーン >>

- ・ 民主的色彩の強調
- ・ 格差是正
- ・ 透明性の確保
- ・ 裁判制度改革
- ・ 贈収賄・不正・腐敗撲滅
- ・ 両刀外交: 対欧米牽制・CIS重視
- ・ 国際化推進: WTO加盟・APEC他

<< 経済に与える影響 >>  
 ☆ 資源産業は安泰: 経済性超越国家事業と国家支援の抱き合わせ  
 ☆ プーチン人脈に群がる基幹産業 (下請・孫請も): ロシア型市場経済の功罪  
 ☆ 経済の近代化とイノベーション: 道程は遠く険しい (が 誰がやっても同じ)  
 ☆ 懸念は米国発第2弾金融危機: 国際市況に左右される経済体質

<< 人気回復・リフレッシュ戦略は? >>

ご清聴深謝!!